

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載

平成29年2月17日掲載

岐阜県立東濃実業高等学校

学校長 橋本 清

所在地 可児市御嵩町伏見 891 電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成28年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成

評議員	廣瀬 吾郎	名鉄広見線活性化協議会前利用推進員	
	高木 和博	可児市役所国保年金課	【欠席】
	高野 全司	仏事の窓口たかの家代表	
	渡辺 裕佳	みたけのええもん審査員	
	三宅 真弓	東濃実業高等学校PTA役員	
学校代表	橋本 清	学校長	
	永田 正也	事務長	
	水野 圭三	教頭	
	今瀬 浩	教頭	【欠席】
	相川 長徳	教務主任	
	馬場 聖臣	生徒指導主事	
	天池 光弘	進路指導主事(代理)	
	飯田 裕仁	商業科主任	
	吉田 香月	生活産業科主任	
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住人や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年1月13日（金） 15:30～16:40
学校評議員4名と学校代表8名が出席
(10:30～15:15まで学習成果発表会を開催)
- 5 会議の概要
 - (1) 学校長挨拶
 - (2) 本年度の学校運営について
 - ①教頭より
 - ②教務部より
 - ③生徒指導部より
 - ④進路指導部より
 - ⑤商業科より
 - ⑥生活産業科より
 - (3) 意見聴取
 - ・学習成果発表会について
 - ・学校運営、教育活動に関すること

意見1 本校の取っている施策に対して生徒、保護者、地域からの信頼度が高いことがデータで示されている。これは課題と成果を明確にして厳しい目で改善しているのが要因ではないか。入学者の動機調査から見ると本校の様な専門高校の役割や期待が今後高まると考える。また、地域課題に対する認識度が高く、地域課題に取り組んだ成果が今日の発表会にもよく表れていると思う。
今年は18歳選挙権の初年度で若者にとって意義のある年だったと思う。高校としてもより良き社会人の育成に取り組んでほしい。

意見2 下校途中の生徒について、一部に交通マナーの悪い場面も見られる。マナー指導と反射板などを持たせるような配慮が必要だと考える。
可児市産業フェアの参加について例年通りの取り組みであったが、他校はボランティアの参加者が増加している。一般企業との触れ合いも大切だと考えるので、来年度からの参加に期待したい。本校は可児市との関係も深いので、今後も可児市商工会議所との連携も大切だと考える。

意見3 御嵩町ええもん審査員の立場から今年も良い商品の開発に尽力いただき感謝している。今年の学習成果発表会も素晴らしい内容であった。学習や部活動で忙しい中学生がよく努力をしていると思うし、先生方や指導や保護者の支援を感じた。保護者として子供の進学について思うが、高校選択も中学校の人間関係が大きく影響している。また本校の卒業生との繋がりも続いており、良い人間関係を構築する力を在校中に養っているように思う。質問として、一年生の夏休み以降の遅刻増加の原因と、東実生としての自覚が芽生えるのはいつごろか教えてほしい。

回答 遅刻については例年の傾向ではないが、1年生は夏休みまでは頑張っていたが人間関係の疲れもあるようだ。3年生では進路が決定したことによる気のゆるみも遅刻の原因ではないか。
東実生としての自覚については、今日の成果発表会も本校生徒としての自覚を育てる良い機会と考えている。また1年生には3年生の進路実現の妨げにならないようにと、日頃から指導している。いろいろな機会をとらえて生徒には東実生としての自覚を育成している。

意見4 本日の学習成果発表会や吹奏楽部の定期演奏会など最高の発表会であった。先生方の指導に感謝している。生徒が地域に積極的に出て課題解決に取り組んでいる姿こそこれからの生徒の力になっていくと感じた。私は今年PTA活動を卒業するが、今後も様々な活動に参加できればと考えている。身だしなみを見る限りしっかりと指導していることが理解できる。また、進路指導では進学者はもちろん、就職者にも英語の必要を痛感した。語学の指導も必要ではないか。また、進路選択の参考として卒業生の意見を聞く機会も有効だと考えるし協力を惜しまない。

6 会議のまとめ

- ・できることは明日からでも実行し改善に努めたい。
- ・英語の必要性のご意見に対して、来年度から英語検定を1年生全員が受験する予定である。できることはすぐに改善していきたい。